

## 東経連事業化センター情報

## マーケティング・ビジネスプラン支援事業の新規支援先について ～(株)日本遺伝子研究所、斎藤マシン工業(株)を新たに支援～

東経連事業化センター（会長：高橋宏明(社)東北経済連合会会長）は、このたび、支援戦略委員会（委員長：熊谷巧東北イノベーションキャピタル(株)代表取締役社長）での採択を受け、マーケティング・ビジネスプラン支援事業として、(株)日本遺伝子研究所（宮城県仙台市）、斎藤マシン工業(株)(山形県天童市)への支援を開始しました。これにより、マーケティング・ビジネスプランの支援企業は17社となります。

- (株)日本遺伝子研究所は、1994年に設立され、遺伝子等の高度解析・合成技術をベースに、染色体・遺伝子の検査、DNA・RNAの合成などを手掛けており、iPS細胞の安全性検査でも国内随一の技術力を有しています。今般、DNAやRNAの検査・診断用キットに用いる安定化剤等を開発したことに伴い支援の申し込みがあり、当センターでは、知的財産戦略、他企業とのアライアンスに係る契約法務、及びブランディングの支援を行うことといたしました。
- 斎藤マシン工業(株)は、2009年経済産業省・中小企業庁の『元気なモノ作り中小企業300社』にも選ばれた真空装置用のステンレス加工メーカーです。同社はこれまで業務用の食用油ろ過器のOEM生産で蓄積したノウハウと独自のフィルター技術を活用して小型・軽量（従来品の約3分の1）のろ過器を開発しました。当センターでは、環境・健康意識の高まりを背景に成長が見込まれることから、ブランド戦略の構築や海外展開に関する支援を行うことといたしました。

マーケティング・ビジネスプラン支援事業は、マーケティングや知財の戦略立案ならびにビジネスプラン構築等の支援を行う事業で、東北7県に主な事業所を置く企業を対象に、新規性・革新性があり、支援を通じて成長軌道に乗る可能性の高い事業を採択しています。

支援企業に対しては、各社の課題に応じて、当センターに登録している専門家等をメンバーとするサポートチームを個別に編成し、原則1年間を期間として支援を行っています。

### ＜これまでの支援案件＞

(株)ピー・ソフトハウス(仙台市)、(株)マイクロアーツ(会津若松市)	(18/ 9～19/ 8)
(株)アクトラス(横手市)、(株)松栄工機(大崎市)	(19/ 3～20/ 2)
(株)アイカムス・ラボ(盛岡市)	(19/ 4～20/ 3)
(有)テクノ・キャスト(大崎市)	(19/ 9～20/ 8)
(株)マーマ食品(花巻市)、(株)ナノテム(長岡市)	(20/ 4～21/ 3)
(株)WELCON(新潟市)	(20/ 6～21/ 5)
(株)及源鋳造(奥州市)、(株)フォットニックス(仙台市)	(20/ 7～21/ 6)
(株)コンピューターシステム研究所(仙台市)	(20/ 8～21/ 7)
(株)マルト長谷川工作所(三条市)	(21/ 4～22/ 3)
(株)多機能性蛋白研究所(仙台市)	(21/10～22/ 9)
(株)東北オータス(仙台市)	(22/2～23/1)

### 【本件についての照会先】

東経連事業化センター 蓮江、大粒来(おおつばらい)、西山 (Tel.022-225-8561)  
仙台市青葉区中央2-9-10 (セントレ東北11階 (社)東北経済連合会内)

■ 新たな支援先・テーマの概要

企 業	株式会社日本遺伝子研究所
代表者	代表取締役社長 中川原寛一
テーマ	DNA・RNAなどの遺伝子検査・診断用キットに用いる安定化剤等の開発に伴う知的財産戦略、アライアンスに係る契約法務及びブランディング支援
概 要	①知的財産の権利化及び新規出願支援 ②他企業とのアライアンスに係る契約法務支援 ③ブランド戦略支援(商標等)
支 援 チーム	酒井宏明 知的財産支援チームプロデューサー 豊隅 優 マーケティング支援チームディレクター ほか

【会社概要】

会 社 名	株式会社日本遺伝子研究所
所 在 地	宮城県仙台市宮城野区出花 2-11-3 (Tel:022-388-7311)
設 立	平成6年3月
代 表 者	代表取締役社長 中川原 寛一
資 本 金	49,000 千円
従 業 員	33名
取 引 先	ロシュ・ダイアグノスティックス、湧永製薬、エーザイ等の国内外の医薬・診断薬・関連機器メーカー、大学・研究所、遺伝子検査センター、病院など
事 業 内 容	・ DNA・RNAの合成及び診断薬キット、研究用キットの製造・販売 (例)子宮頸がん検査(HPV DNA検査)など ・ 染色体・遺伝子検査の受託、iPS細胞安全性検査等の受託
特 徴	・ 純度99.99%を実現する高い合成技術、高度な遺伝子解析技術をコアに、DNA・RNA等の合成、染色体・遺伝子検査等を手掛ける。 ・ 高い技術力、独自の製品開発力には定評があり、独ロシュをはじめとする国内外の大手製薬企業とのアライアンス、大学や病院等の研究・医療の現場に対する支援などを実施中。これまでに1000先を超える企業・研究所・医療施設等にソリューション(製品・サービス)を提供。 ・ 注目を集めるiPS細胞の染色体安全性検査でも随一の技術力を発揮。 ・ 近年では、子宮頸がん検査等の女性向け検査・診断分野にも注力中。

<支援対象(新製品)の解説>

◆プライマー安定化剤(特許出願中)

- ・ DNAなどの遺伝子検査・診断用キットに使用されるプライマー(注)の保存安定性を飛躍的に向上させる溶液を新規開発。  
(注)プライマー; DNAを合成する際の核酸の断片
- ・ 従来は、プライマー溶液の長期保存のためには、-20℃などでの凍結保存が必要。また、使用のたびに必要量を解凍することによるプライマーの分解や残余プライマーの廃棄という問題もあった。
- ・ 新開発の安定化剤は、溶液を常温で長期間保存可能にするもの。従来の課題を解決するばかりでなく、当該安定化剤(溶液)を活用した製品(検査・診断薬キット)は保存性・運搬性に優れたものであり、国内外の医療の現場に広くデリバリー・保管可能な画期的な製品となる。

◆RNA保存溶液(特許出願中)

- RNAの診断の信頼性や効率性を高めるRNA標品(注)の保存安定性を実現する溶液を新規開発。  
(注)RNA標品;RNA診断薬に用いる、検査・測定・対象安定化用RNA
- RNAの診断(RNA発現量の測定)のためには、RNA標品を用いて、ワンステップで診断を行うことが効果的。しかしながら、RNAの長期保存が困難であったため、従来は医療の現場に信頼性のあるRNA診断薬を供給できなかった。また、RNA診断にはDNAを使用した複数ステップの診断が必要であった。
- 新開発のRNA保存溶液は、RNA標品を安定化し診断薬としての医療現場への供給を可能とし、かつワンステップでRNA診断が可能となる画期的な製品となる。

企 業	斎藤マシン工業株式会社
代表者	代表取締役社長 阿部光成
テーマ	食用油ろ過装置に関わる知財戦略及びブランディング支援
概 要	①知的財産の権利化及び新規出願支援 ②ブランド戦略支援(商標等)
支 援 チーム	酒井宏明 知的財産支援チームプロデューサー 大志田典明 マーケティング支援チームプロデューサー ほか

【会社概要】

会 社 名	斎藤マシン工業株式会社
所 在 地	山形県天童市石鳥居二丁目 2 番 64 号 (TEL:023-655-4151)
設 立	昭和38年4月
代 表 者	代表取締役社長 阿部光成
資 本 金	10,000 千円
従 業 員	41名
取 引 先	日本電子(株)グループ各社, (株)ブイテックス, (株)シンクロン, (株)トプコン山形 など
事 業 内 容	・真空装置部品、食品関連機械部品及び電子顕微鏡などの電子応用装置 部品の機械加工と組み立て
特 徴	・一からの工程づくりが必要となるような多工程の単品ものを得意とする。 ・真空装置用のステンレス加工を主力とし、1/100 レベルの加工精度の 精密溶接技術で真空度 10 <sup>-8</sup> 乗を達成。 ・機械加工では不可能な真空部品で最も重要なパッキン部の仕上げなど の手仕上げ技術に関するノウハウを蓄積。

## 【東経連事業化センター(平成18年4月設立)の概要】

1. 目 的／東北地域の競争力強化に向けて、マーケティング支援をはじめとする新産業・新規事業の創出支援に東北地域の産学官の総合力を発揮して取り組み、地域イノベーション・システムの強化を図ること
2. 活動期間／5年間(平成18年4月～平成23年3月)
3. 組織形態／東北7県の企業支援機関、産学官連携機関、大手企業等を会員とする任意団体
4. 活動経費／年間5千万円程度
5. 事務局所在地／東経連事務局内に設置
6. 事業概要／(1)「マーケティング・ビジネスプラン支援事業」  
(2)「産学マッチング支援事業」(革新的な研究開発プロジェクト創出サポート)  
(3)経営企画力アップを目指した人材育成  
(4)科学技術・産業政策に対する国への提言

以上